

R6年度東北地域災害科学研究集会 発表プログラム 第一会場 (201講義室)

12月25日(水) (201講義室)	【第1部】 司会： 岡田 里奈 先生			
	第1部	13:00-13:15	十和田石製ジオポリマー作製における硬化剤濃度と物性の関係検討	○加賀谷 史、齋藤 憲寿、南田 悠、齋藤 菜月(いずれも秋田大学大学院理工学研究科)
		13:15-13:30	137Cs年代測定法による年縞計測の評価:男鹿半島一ノ目潟を例に	○阿保純平・永田篤規・田副博文・梶田展人・梅田浩司(弘前大学)・安藤卓人(秋田大学)
		13:30-13:45	角閃石族の化学組成に基づく大山最下部テフラ hpm1 と hpm2 の対比	○森悠人(弘前大学理工学部)、梅田浩司(弘前大学理工学部)
		13:45-14:00	ホタテ廃貝殻を用いた八郎湖のリン酸イオンの除去実験	○齋藤菜月、齋藤憲寿、加賀谷史、南田悠(秋田大学大学院理工学研究科)
		14:00-14:15	2024年能登半島地震に伴う津波堆積物の堆積学的特徴	○茂木勤吾、岡田里奈、梅田浩司(弘前大学理工学部)
		14:15-14:30	津軽平野の上位沖積面堆積物に認められる洪水堆積物について	○堂元礼比古、梅田浩司(弘前大学理工学部)
		14:30-14:45	山形県および秋田県沿岸から報告されているイベント堆積物の成因	○角田海斗、和田凌汰、鎌滝孝信、藤木利之(岡山理科大学理学部)、植松峻彦(山形県埋蔵文化財センター)、相原淳一(元東北歴史博物館)、齋藤龍真(株式会社ALISys)、駒木野智寛(北海道大学医学研究院)
		14:45-15:00	休憩	
	15:00-17:10	公開講演 (301講義室)		
12月26日(木) (201講義室)		9:00~9:50	地区総会(202講義室)	
	【第2部】 司会： 門廻 充侍 先生			
	第2部	10:00-10:15	雨量推計手法と浸水範囲推計手法の検討-令和元年度東日本台風を対象として-	○田村諒(東北大学大学院工学研究科)、佐藤栄治(宇都宮大学地域デザイン科学部)、佐藤健(東北大学災害科学国際研究所)
		10:15-10:30	令和6年7月豪雨における酒田市大沢地区での住民避難行動	○熊谷誠(山形大学地域教育文化学部)
		10:30-10:45	馬場目川における河床変動に関する検討	○山田晃平(秋田大学理工学部)、齋藤 憲寿(秋田大学大学院理工学研究科)、渡辺一也(秋田大学大学院理工学研究科)
		10:45-11:00	2023年秋田豪雨における秋田市駅東地区の被害について	○齋藤憲寿(秋田大学大学院理工学研究科)、及川洋(秋田大学名誉教授)、渡辺一也(秋田大学大学院理工学研究科)
		11:00-11:15	2018年西日本豪雨の被災地域における地名と災害リスクとの関連性	○城田芽美、鎌滝孝信(岡山理科大学大学院理工学研究科)
		11:15-11:30	大雨災害における消防救出記録の再分類手法の提案	○門廻充侍(秋田大学新学部設置準備担当)、永田尚三(関西大学社会安全学部)
		11:30-11:45	2024年7月の梅雨前線豪雨による人的被害発生場所の特徴	○牛山素行(静岡大学防災総合センター)、本間基寛(日本気象協会)、向井利明(気象庁)
		11:45-12:00	パラメトリック型保険による津波リスク低減の定量化および最適化手法の提案	○三木優志(東北大学 工学部 建築・社会環境工学科)、Suppasri Anawat、Cheng An Chi、Constance Ting Chua、今村文彦(東北大学災害科学国際研究所)、岩崎智哉、篠塚友吾、小川剛史(スイス・リー・インターナショナル・エスイー日本支店)
		12:00-12:45	昼食	
		12:45-13:30	ポスター発表 (ポスター掲示会場：102講義室)	
	【第3部】 司会： 奥村 誠 先生			
	第3部	13:30-13:45	富山での自動車を利用した津波避難方式の構築に向けて-東北地方の事例を参考に-	○沼澤蓮音(富山県立大学大学院工学研究科)、呉修一(富山県立大学工学部)
		13:45-14:00	津波避難安全性評価のためのメッシュベース最適化モデル	○佐藤千仁(東北大学大学院工学研究科)、堀合紳弥、奥村誠(東北大学災害科学国際研究所)
14:00-14:15		米代川の河口部における塩水遡上について	○山崎諒(秋田大学理工学部)、齋藤憲寿(秋田大学大学院理工学研究科)、渡辺一也(秋田大学大学院理工学研究科)	
14:15-14:30		砂浜で発電する波力発電装置の開発における波よけの影響	○大河内純一、齋藤憲寿、高橋圭太、秋永加奈、渡辺一也(秋田大学大学院理工学研究科)	
14:30-14:45		等圧効果を利用した通気工法外壁の風荷重低減の試み	○植松 康(東北大学未来科学技術共同研究センター)、細川 敬士郎(NTT都市開発㈱)	
14:45-15:00		着床式洋上風力発電施設とコンテナの衝突に関する検討	○池ヶ谷翼(秋田大学理工学部)、齋藤憲寿、渡辺一也(秋田大学大学院理工学研究科)	
15:00-15:15		円弧型独立上屋の構造骨組用風力係数に関する検討	丁 威(秋田工業高等専門学校)、○藤沢優輝(秋田工業高等専門学校)、植松 康(東北大学)	